

超入門・ファイル転送

知らずにやってる？ ファイル転送と アナタの深〜い関係



フトシくん

ファイル転送なんて
関係ないし…

いえいえ、実は
関係大アリなんです



ハルナさん

「ファイル転送」と聞くとなんだか難しそう…と思うかもしれませんが、さまざまなシステムに欠かせない重要なモノであると同時に、実はアナタ自身も日々ファイル転送をしている、そんな身近な存在でもあります。さらにクラウドやビッグデータ、IoT など技術の進化とともにその重要度も増しているのだとか。自分とどう関係があるの？ そもそもいったいナニ？ といった基本から説明しましょう。

HULFT

広がり続けるファイル転送の“用途”



そもそも、なんで“ファイル転送”が必要なんでスカ？



確かに、かつてメインフレームなどシステムが1カ所に集約されていた時代にはファイル転送は必要ありませんでした。ですが、IT化が進み複数のシステムを使うようになって、システム同士でデータを共有したい、というニーズが出てきます。そこで、システム間でデータをやり取りするために活躍したのが“ファイル転送”の仕組みなんです。



こっちのシステムのデータを隣のシステムでも使えると便利…ってコトかな。



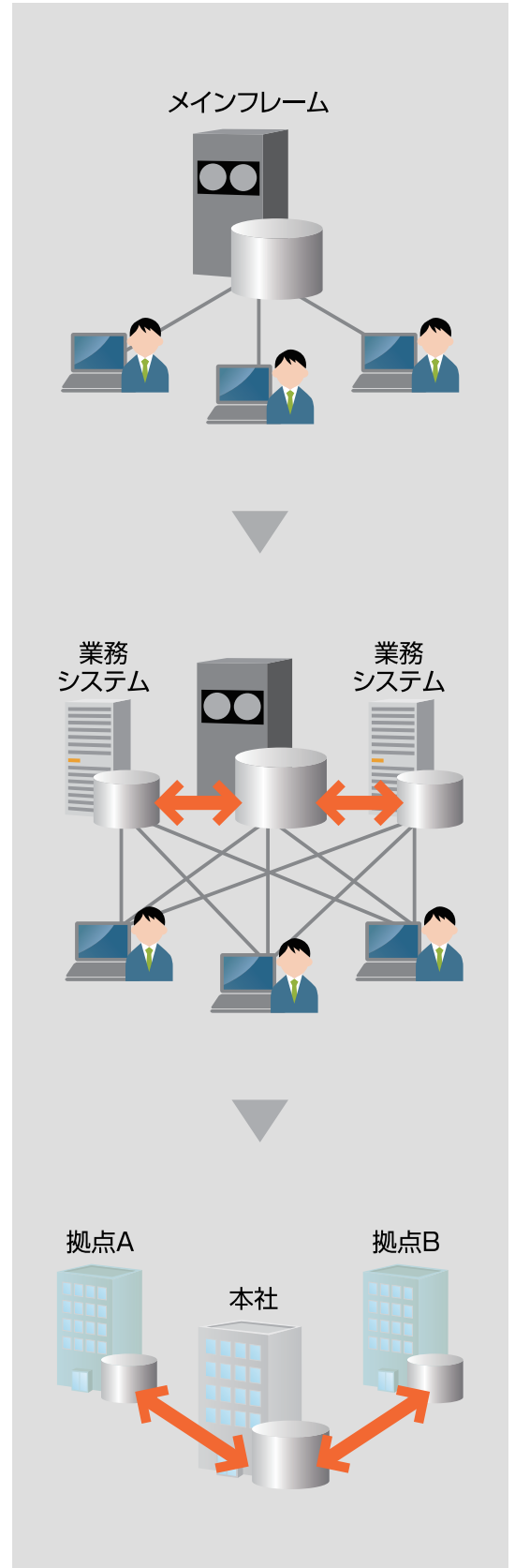
そういうこと！ただ、ファイルを送っただけではNG。転送先のシステムで使えるようにデータ形式を整えて(変換)はじめて隣のシステムでもデータが使えるようになるの。簡単な例だと、データの並び順をそれぞれのシステムにあわせて並べかえたりします。これが“データ変換(連携)”と呼ばれるものでファイル転送とはセットで使われることが多いから、覚えておくと便利よ。



うーん。難しくなってきたゾ。



ふふ。まずはそういうモノがあると覚えておけば大丈夫。その後、ネットワーク回線の高速化・大容量化にあわせて、拠点をまたいだシステム間でファイルをやり取りしたり、バックアップを取るといった、複数拠点間でのファイル転送も一般的になっていきます。





なんかすごいよね。



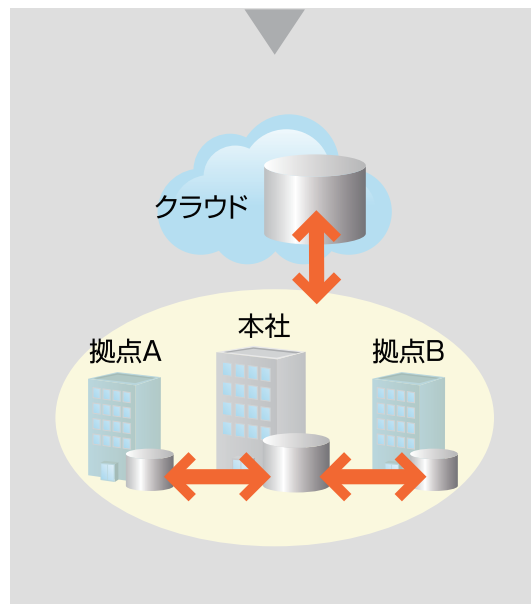
拠点間だけではなくありませんよ!ファイル転送はクラウドにもつながっていきます。最近ではクラウドサービスを使う企業が増えていますよね。クラウドと社内システム間でも、もちろんファイル転送が必要。ここでも重要な役割を担っているんですよ。



そんなところまで!
…ってことはウチの会社でも使ってるのかな。



なにをイマサラ…。もちろん使ってますよ。多くの企業がなにかしらのファイル転送をしているはずですよ。たとえば製造業では設計データなど大容量データをどう扱うかが課題だったり、金融業では個人情報扱うためにかなり厳格なセキュリティ基準が定められていたり、業界によって特長があります。



製造業など

設計データなど
サイズが大きくて
相手に送れない。



金融業など

顧客データなど
セキュリティが心配で
相手に送れない。

TOPICS

IoT、ビッグデータ…技術の進化でファイル転送がますます重要に!?

ビッグデータやIoTといったワードを、聞いたことはありませんか? 「ビッグデータ」とは、ハードウェアやソフトウェアの進化により、これまでは管理しきれなかったような大量のデータを活用・分析しようというモノ。そして「IoT」はIT機器以外の「物」に通信機能をつけ制御する仕組みで、どちらも最先端のトレンドとしてニュースなどで取り上げられる機会が増えています。どちらにしても、日々蓄積される大量のデータ(ビッグデータ)をどう送るか、「物」とどうデータをやり取りするかなど、「ファイル転送」の問題は必ずついてまわります。最先端のIT技術も、ファイル転送と密接な関係があるんです。



メール添付も!? 実は身近なファイル転送



ファイル転送がすごいってコトはわかりましたよ。でもボクには関係ないですよね?



そんなことないわよ。たとえば、メールにファイルを添付して送ってるでしょ?USBメモリにファイルを入れて渡したことは?それもファイル転送なのよ!



え? それもファイル転送なんでスカ? そういえば、お客さまにファイルを添付してメールしたら、容量オーバーで届いてなかったみたいで、トラブルになっちゃって。あと、部長もUSBメモリをなくして大騒ぎになったり…。ファイル転送って怖いなあ。



重要な役割を担っているからこそ、トラブルがあると大変よね。そこで登場するのが“システム化”。以下のようなケースに当てはまるなら、ファイル転送をシステム化して、手間なく、大容量でも確実に転送できる仕組みを用意する必要があります。

こんな場合はファイル転送“システム化”の検討を!

- ☐ 定期的に決まった相手にファイルを送っている
- ☐ メールでは送れない大容量ファイルを送る必要がある
- ☐ 確実に相手に届いたことを確認する必要がある





ファイル転送のシステム化を実現する方法として、一般的に知られているのが「FTP」。
ファイル転送のための通信プロトコルで、無料で利用できるの。



便利なモノがあるんですねえ。じゃあコレを使えばすべて解決っと…。



ちょっと待って! そう簡単にはいかないのよ。
FTPでできるのはファイルを転送するところだけ。それだけでは足りないの。

FTPの課題とは…



転送以外の処理を開発する必要がある

FTPが実現するのは「指定したファイルを転送する」というファイル転送の中核をなす処理だけ。「送信先ディレクトリを指定する」「文字コードを変換する」など転送以外の処理は、別途開発しなければなりません。



セキュリティ・信頼性に問題がある

FTPは基本的にファイルを暗号化しないため、セキュリティに問題が。また、正確なファイルが届いたかどうかの検証をおこなう仕組みや、転送に失敗したときに再配信する機能もありません。



ファイル転送先が増えてくると、設定や管理が煩雑に

拠点や取引先などファイルの転送先が増えても、統合管理・一元管理する仕組みも用意されていません。転送先ごとにイチから開発したり、設定をその都度変えるといった運用ではあまりに大変です。

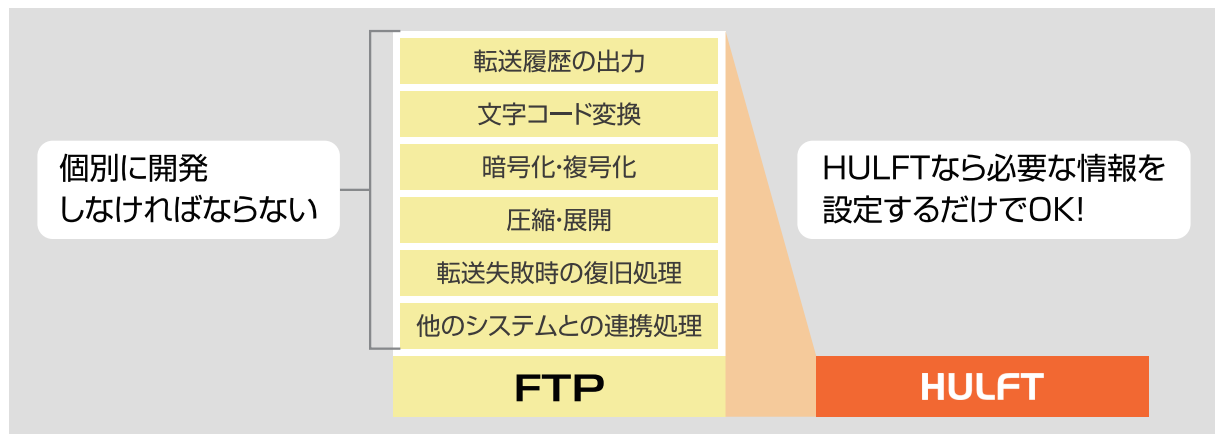
HULFT でまとめて解決!



そんなFTPの課題をまとめて解決するのが「HULFT(ハルフト)」なのよ。
HULFTを使えば、“ファイル転送のシステム化”をカンタンにできるの。

導入がカンタン!

どのシステムにどのファイルを転送するかを指定する、ファイルを暗号化する、履歴をとるといった、ファイル転送の一連の流れをカンタンにシステム化。開発(プログラミング)が不要で、短期間で導入できます。



運用がカンタン!

たとえば大容量のファイルを送る途中でエラーになったら…。FTPでは最初から送りなおすしかありませんが、HULFTならば「続きから送る」ことができます。自動で再送信する機能などもあるため、日々の運用がグッとラクに。また、ファイルの転送先が増えても、転送先ごとの設定や処理、連携をカンタンに管理できるのもHULFTの特長です。

HULFTが実現するセキュリティと信頼性

HULFTでは標準で複数の暗号化方式に対応しており、転送するファイルの内容が第三者に読み取られないよう暗号化してファイル転送をおこないます。こうすることで、ファイル転送の途中で内容を“盗聴”されるリスクを最小限におさえ、強固なセキュリティを実現します。さらに、レコード件数やファイルサイズなどを転送後にチェックし、正しいファイルが届いたかどうかを検証する仕組みも搭載。間違いのないファイルを確実に届けることを可能にしています。

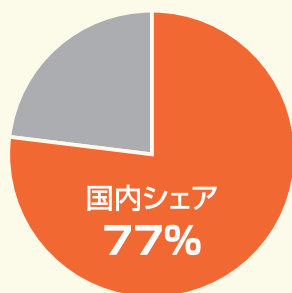
日本で、世界で選ばれている HULFT

● 豊富な導入実績

1993年の発売以来、HULFTは数多くの企業のファイル転送を支えてきました。海外企業の導入も多く、企業規模や業種を問わず豊富な実績を誇ります。

11年連続国内シェアNo.1(※1)

世界42カ国、8,200社が導入



※1 出典:株式会社富士キメラ総研「2004-2010パッケージビジネスソリューションマーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場 2010-2015年版」<パッケージ・金額ベース>

● 選ばれる理由は“品質”

ここまで多くの企業にHULFTが選ばれる理由は、その品質。20万項目におよぶテストを実施し、「そもそもトラブルが起きない」「問題があってもすぐに解決する」と高く評価されています。

製品障害発生率

0.1%

(※2)

91.5%

(※3)

一次問い合わせ
での問題解決率

※2 HULFT製品における障害件数/出荷本数 集計期間: 2012年4月～2014年9月

※3 2014年9月時点

アイコンを選んで並べるだけで“もっと”自動化できる!

HULFT Script

ファイル転送をカンタンに自動化するHULFTですが、「決まったフォルダに入れたファイルをまとめて転送したい」「転送に失敗したらメールで通知して欲しい」といったファイル転送“前後”の処理までカンタンに自動化するツールがあるんです。それが「HULFT Script」。プログラミングは一切不要、GUIでやりたい処理のアイコンを選んで順番に並べるだけでOK。よくあるニーズについてはテンプレートも用意されており、誰でもすぐにファイル転送をはじめられます。

これを使えば
ボクもファイル転送
マスターだなっ

12種類の
テンプレート

プログラミング
不要

仕様書を
自動生成



HULFT ファミリー製品一覧

複数の HULFT をまとめて管理するなら

複数システムに散在するHULFTを統合管理。拠点間転送におけるセキュリティや稼働状況の管理など、ファイル転送が複雑化した際の課題を解決します。

HULFT-HUB

インターネット回線でカンタンにファイル転送するなら

専用線/VPN不要&低コストでファイル転送環境を実現できるSaaS型サービス。通信経路上にデータを残さない仕組みで、セキュリティを確保します。

HULFT-WebConnect

ブラウザから手軽にファイル転送したいなら

インターネット環境さえあれば、Webブラウザからファイルを手軽に転送できます。取引先や拠点との間のファイル転送を安全・スピーディに実現します。

HULFT-WebFT

データ加工をノンプログラミングで実装したいなら

ファイル転送に“つきもの”のデータ連携を、ノンプログラミングで簡単に実装できるツール。高速かつ大容量のデータ変換もコストを抑えて対応できます。

DataMagic

異なるシステムのデータやアプリケーションを連携させたいなら

複数システム間のデータ連携ハブとして活躍する統合プラットフォーム。豊富なアダプタが用意され、ノンプログラミングで簡単にシステムを連携できます。

DataSpider[®] Servista

各種セミナー開催中！

「はじめてのHULFTセミナー」や「効果的なHULFT活用講座」など基礎から応用までさまざまなセミナーを開催しています。また、オフィスに伺っての「オンサイト研修」もおこないます。
<http://www.hulft.com/seminar/flow/index.html>

オンラインでも受講できるセミナー動画も

各種セミナーの動画はWebで公開！時間や場所を問わずに、HULFTセミナーを受講できます。
<http://www.svpcloud-tv.jp/saison/hulft/>

HULFTコミュニティ

HULFT Orange Lab.

HULFTエンジニアのコミュニティサイト。便利ツールやテンプレート、HULFT開発者コラムなどを掲載中。
<https://hulftorangelab.zendesk.com/hc/ja>

HULFT 技術者資格認定

HULFTの技術力を認定する資格制度。資格取得を通して基礎知識が身につくとともに、HULFT構築・運用の技術力アピールにつながります。
<http://www.hulft.com/support/examination/index.html>



【お問合せ先】

株式会社 セゾン情報システムズ

HULFTフリーダイヤル ☎ 0120-80-8620

※利用時間9:30~17:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saizon.co.jp

この小冊子の記載内容は2016年3月現在のものです。本章冊子の記載内容は予告なく変更することがあります。